

もちつき大会での衛生管理（職員留意事項）

○事前に役割分担を明確にし、検便は、返し手の職員を中心に、限定して実施します。もち切りや丸める人は必ず使い捨て手袋を使用してください。

※ただし、使い捨て手袋をしていても、もち以外のもの（自分の顔や髪の毛、ドアの取っ手など）を触れば、手袋をしている意味がなくなってしまいます。手袋も、取り扱い方法を誤ると汚染の原因となります。気をつけましょう。

○もちつき前の検便は、実施時点での感染の有無について調べています。検便をしたからといって、感染症をすべて予防できるものではありません。そのため、実施当日も、特に以下の項目を徹底し、事前の「手洗い」と「使い捨て手袋使用」の徹底を周知してください。

※もちに直接さわる職員は、当日の体調が良好で、手指に傷がないこと。

※もちに直接さわる職員は、特に衛生的な身だしなみを心がけ、むやみに顔や髪をさわらないこと。

※実施中は役割分担以外の作業を行わないこと（他の作業を行った場合は、手洗いを行い、使い捨て手袋をしていた場合は、新しいものに取り替えて、作業に戻る）

○嘔吐・下痢がはやっている場合は、中止も視野に入れて、事業計画の見直しを行ってください。